

青年の雇用と労働の改善をめざす

共同要求署名

京都府知事 山田啓二殿

京都市長 榎本頼兼殿

「青年を使い捨てにするような働かせ方は許せない!」。いま多くの若者が置かれた雇用と労働をめぐる深刻な実態を打開することは、青年の切実な要求であるとともに、少子化問題やものづくりや安全などの技術の継承・後継者育成問題、年金制度など社会保障の維持・発展など、日本社会と地域社会の将来にとって重大かつ緊急課題となっています。

青年が未来に希望をもって安心して働き続けられる条件をつくり出すために、以下の諸施策について国に要求するとともに、京都府と京都市は、もてる力と権限を最大限に発揮し、英知を結集して行うことを強く求めます。

私たちに“安定した仕事を! ”、私たちは人間らしく“働きたい”

1、青年労働者の使い捨てをやめ、正規雇用の拡大をもとめます

国・自治体・企業の責任で青年労働者の雇用を守ってください。とりわけ企業が雇用責任を果たすように、正規雇用（期間の定めのない・直接雇用）を増やすための特別の対策をとることを求めます
偽装請負など、違法・無法行為をただちにやめさせるよう、法令や通達の厳格な適用をすすめてください
教育、保育、福祉、医療、防災など国民生活に必要な分野で、国や自治体自らが青年への仕事をつくってください

2、横行する長時間・過密労働をやめさせることをもとめます

1日拘束8時間、完全週休2日・週40時間の労働時間を徹底してください
サービス残業（ただ働き）はなくしてください
時間外、深夜、休日の労働時間の上限を定めるよう国に求めてください
有給休暇の保障を徹底してください。アルバイトやパート、派遣社員などにも労働日数に比例して有給休暇を保障することを徹底してください

3、生活できる賃金を保障してください、非正規労働者への差別をなくして同一労働同一賃金など、均等待遇を保障してください

派遣やパートと正社員との待遇の均等化を法制化するよう国に求めてください
最低賃金が生活保護基準より低いという実態を解決し生活できる賃金を保障してください

氏名	住所	

取り扱い団体（ ）